

NEWS RELEASE

平成21年10月21日

電通ラテンアメリカの完全子会社化について

株式会社電通（社長：高嶋達佳 以下、電通）は、2004年にブラジルの広告会社DPZ社（Duailibi, Petit, Zaragoza Propaganda Ltda. 社長:Jose Maria Martines Zaragoza）との合併により設立した電通ラテンアメリカ（以下、DLA）のDPZ持株分49%を取得し、DLAを完全子会社化することにいたしました。

これまでDLAは、日系得意先、現地得意先を獲得し、順調に営業活動を行ってまいりましたが、この度、DLAを完全子会社とし、欧州・北米・南米を統括する電通ホールディングスUSA（以下、DHUSA）の管理下に置き、DHUSAがDLAに対して、プランニング・ツールなどの情報共有化を推進していくことで、さらなる営業力強化を図ってまいります。

なお、ブラジルでは、2014年6月～7月にはFIFAワールドカップ（TM）が、2016年8月にはリオデジャネイロでオリンピックの開催が決定し、今後も経済成長（※1）が期待されていることもあり、DLAの更なる業績拡大に向けた取り組みを行ってまいります。

<電通ラテンアメリカ 会社概要>

社名： Dentsu Latin America Propaganda S/A
所在地： サンパウロ（ブラジル）
取締役： 鈴木 徹（電通グローバル事業統括局より出向）
設立： 2004年4月
資本金： 約4億3,600万円
出資： 電通100%
従業員数： 81名

（※1）ブラジル広告市場について

ゼニス・レポートによると、ブラジル広告市場は、全世界的な不況の影響で、本年こそ-2.5%の対前年比成長率となっていますが、2010年は7.6%増、2011年は7.7%増と、非常に安定した成長が見込まれています。同レポートの国別広告市場では、2011年には、米、日、独、中、英、仏につぎ、世界で7番目に大きな市場に成長することが見込まれています。